

多治見市社会福祉協議会主催「2015 ふれあい福祉まつり」に参加してきました！

東濃支部では、『地域の皆様の健康 と 理学療法士の啓発活動』を目的に、毎年東濃地域内での様々なイベントに参加させていただいております。

平成27年度は、10月24日(土)、多治見市総合福祉センター内にて開催されました『2015 ふれあい福祉まつり』に、総勢9名のスタッフで参加してきました。

活動内容としては、

- ① 高齢者・障がい体験
- ② コグニサイズの紹介・体験、パンフレットの配布
- ③ ロコモティブシンドロームの紹介・パンフレットの配布

ふれあい福祉まつりは、例年、小学生を中心とした子どもさんの参加が多く、理学療法士会のブースも、お子様連れのご家族を中心に多くの方に足を運んでいただきました。

高齢者・障がい体験では、軍手をして感覚を鈍くした状態で、お菓子の包装を開けることの不自由さを体験してもらうコーナーで、「おじいちゃん、おばあちゃんもこんな感じなんだよ。困ったら手伝ってあげてね。」とのスタッフの声かけに、「うん！」と元気よく返事を返してくれた小学生の子に、スタッフも笑顔をもらいました。

また、コグニサイズの紹介・体験コーナーでは、二重課題の難しさを体験され、「今から気を付けなくっちゃ。」と積極的にパンフレットを持って帰られる光景に、地域の方々の意識の高さを感じることが出来ました。

地域で暮らす方々のため、地域に還元できる理学療法士を目指し、公益事業部の活動を続けていきます。この活動に参加してくださったスタッフの皆さま、参加の機会を与えてくださった関係者の皆さまに、こころより感謝申し上げます。

来年度も、東濃地域いずれかの市町村で活動したいと考えておりますので、機会がございましたら是非ご参加ください。

東濃支部公益事業部スタッフ一同
平成27年10月



【東濃支部活動報告】

『RUN 伴 (PLUS) 2015 に参加して』

皆さんは“RUN 伴”って知っていますか？RUN 伴は 2011 年から開催されている認知症の人に何か支援をするのではなく、走ること、タスキをつなぐことを通じて、誰もが自分のことととらえ、企業、行政、市民が力をあわせ誰もが安心して暮らせる地域を作っていくことを目的とした北海道から九州まで襷をつなぐキャラバンです。恵那地域を中心に昨年初めて参加し、今年で 2 年目の参加となりました。東濃支部においても支部活動の一つとして昨年から参加している事業です。

参加者は当事者をはじめとして医療、福祉、介護施設の職員、一般の市民の方など様々であり、昨年は全国で約 4600 人の参加があり、恵那地域では 382 人（県士会東濃支部からは 13 人参加）の参加がありました。今年は全国で約 8000 人、恵那地域ではランナー、サポーター含め 741 人の参加者があり、東濃支部の理学療法士からは計 19 名が参加しました。今年は恵那市内各地をはじめとして中津川市、土岐市、瑞浪市など各地からスタートして恵那市役所を目指してタスキをつなぎました。

今年は東濃支部として恵那市役所で行われた RUN 伴イベント会場にて認知症予防運動で有名な“コグニサイズ”紹介コーナーも行い、イベント会場に来てくださった方々にコグニサイズの紹介、体験も行い多くの方にコグニサイズの体験をしてもらえました。参加者の中には病院から施設へ転院した患者さんにゴール会場で出会うといった嬉しい出来事もありました。

認知症はリハ専門職が必ずと言っていいほど出会う疾患です。認知症はオレンジプランとして国の施策の一つとなっています。その認知症の課題を、認知症の人や家族、支援者だけでなく、行政や一般住民などの皆さんが、同じタスキをつなぐ体験を通じて、様々な人同士が出会い、認知症の人も暮らしやすい地域について考えることができ、私たち理学療法士もその一役を担うことができればと考えます。

このイベントは来年度も開催されると思います。東濃支部のみでなく多くの理学療法士会会員に参加して頂けたら幸いです。

